

プラリア投与予定の患者さんへ先生から手渡される冊子です

骨粗しょう症の新しい治療

.....
プラリアについて



監修

社会福祉法人 聖隷福祉事業団

聖隷浜松病院 骨・関節外科 部長 森 諭史 先生

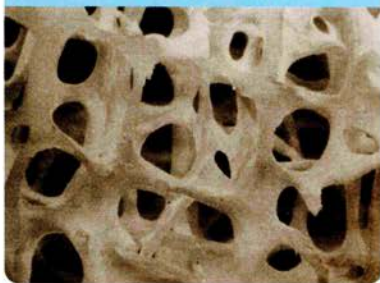
骨粗しょう症はどんな病気？



骨粗しょう症は、骨がスカスカになり骨折しやすくなる病気です。

特に高齢の女性では、閉経後にホルモンのバランスが変化して、骨粗しょう症になりやすくなりますので、注意が必要です。

健康な人の骨



骨粗しょう症患者さんの骨

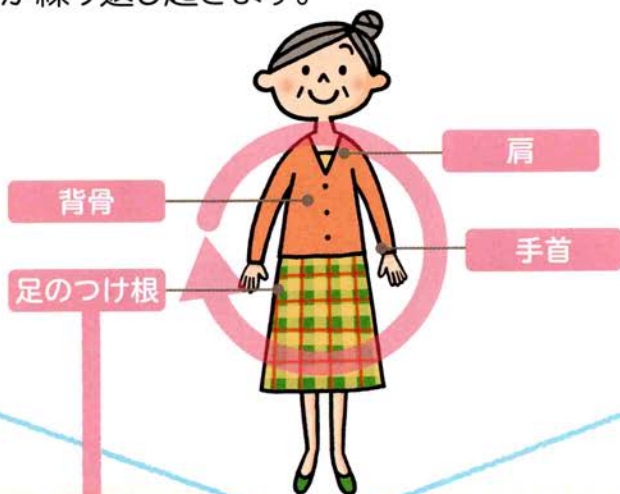


骨粗しょう症を放っておくとどうなるの？



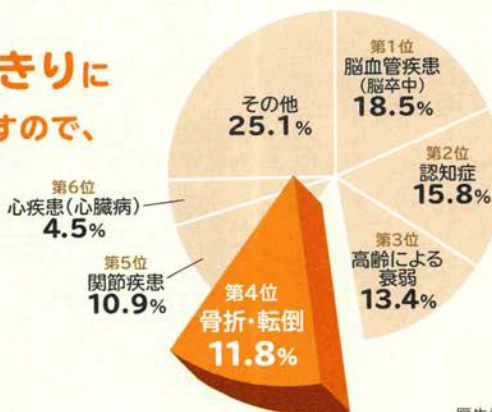
骨粗しょう症で骨折しやすい部位

骨折が繰り返し起きます。



**骨折が連鎖し、
そのまま寝たきりになる
ことがありますので、
注意が必要です。**

介護が必要になった原因



厚生労働省：
平成25年国民生活基礎調査より作図



骨粗しょう症の骨は、 新陳代謝のバランスが崩れています。



● 健康な骨 ●

骨は絶えず古い骨から新しい骨に生まれ変わる「新陳代謝」をして、バランスが取れた状態にあります。

古い骨を
こわす細胞
(破骨細胞)



新しい骨を
つくる細胞
(骨芽細胞)

● 骨粗しょう症の骨 ●

骨をこわす細胞(破骨細胞)が、骨をつくる細胞(骨芽細胞)より動かされ、骨がこわされ過ぎている状態です。

破骨細胞の働きを
活発にさせる物質
「ランクル」



「ランクル」がたくさん
放出されています。

もっと
働くぞ!



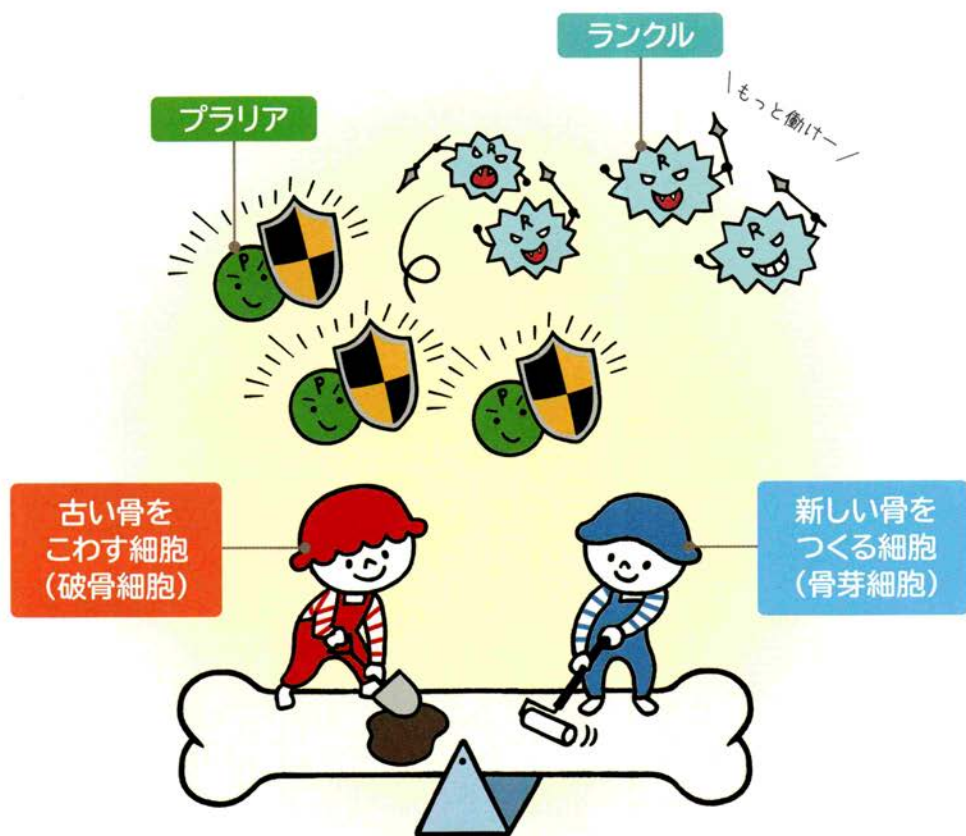
間に合わないよ...

「ランクル」によって破骨細胞
が活発に骨をこわしています。
骨をつくる骨芽細胞の働きが
間に合わず、骨がスカスカに
なります。

プラリアは、骨をこわす細胞(破骨細胞)の働きを抑え骨を増やします。



プラリアが「ランクル」をブロックして破骨細胞の働きを抑えることで、こわされる骨と新しく作られる骨のバランスが保たれます。



プラリアは、6カ月に1回の注射で
骨を増やすことができるお薬です。



プラリア投与



プラリア投与

6カ月後



6カ月後の投薬までに、検査や他のお薬の投薬などによる通院は必要です。先生のご指示に従ってください。

主な骨粗しょう症治療剤の種類



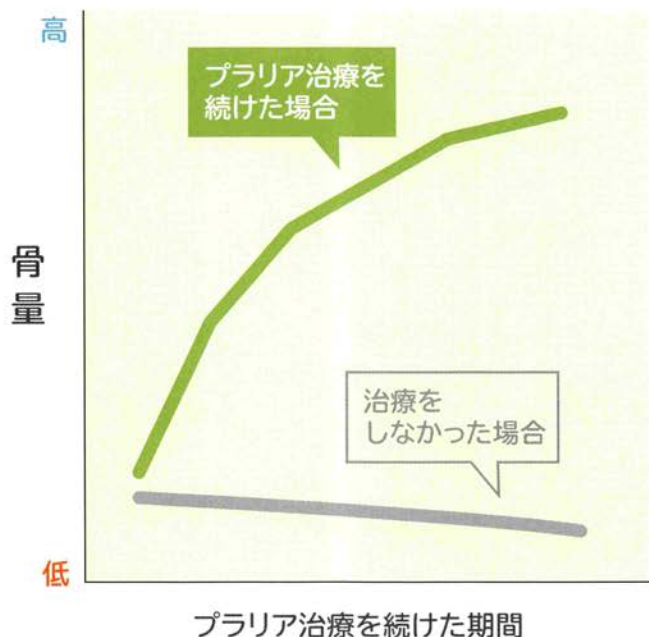
| | |
|-----------------------|--|
| プラリア | 骨をこわす働きを抑えます。 6カ月に1回 皮下注射 |
| ビスホスホネート | 骨をこわす働きを抑えます。 1日1回/週1回/4週に1回 服用 4週に1回/1年に1回 静脈注射 |
| 選択的エストロゲン モジュレーター | 骨をこわす働きを抑えます。 1日1回 服用 |
| 副甲状腺ホルモン | 骨の形成を促進します。 毎日/週1回 皮下注射 |
| 活性型ビタミンD ₃ | 腸からCaが吸収されるのを助けたり、 骨の形成を助けます。 1日1回または2回 服用 |
| ビタミンK ₂ | 骨の形成を助けます。 1日3回 食後に服用 |
| カルシウム | 食事で足りないCaを補給します。 1日2~3回 服用 |



プラリアは、6カ月に1回の注射で
背骨と太もものつけ根の骨量を増やします。



骨量を増やす効果



治療をしなかった場合と比べ、
背骨と太もものつけ根の
骨量を増やします

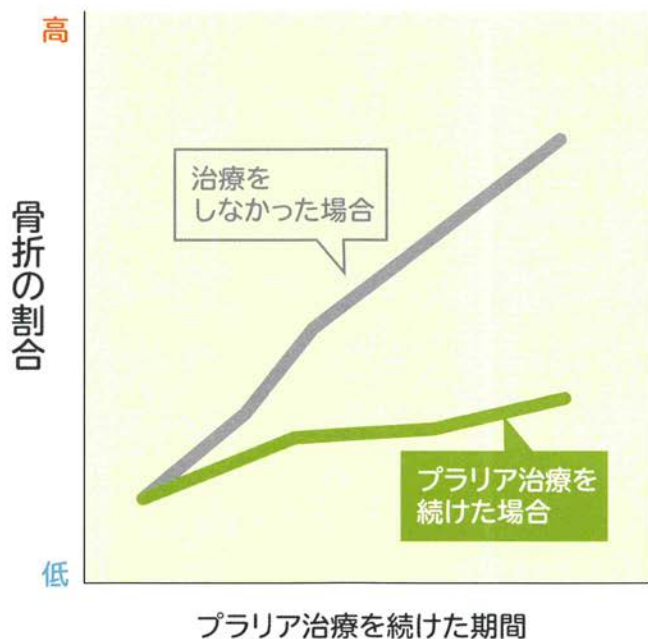
(イメージ図)



その結果、プラリアは
背骨と太もものつけ根の骨折を減らします。



骨折を減らす効果



治療をしなかった場合と比べ、
背骨と太もものつけ根の
骨折を減らします

(イメージ図)



このような場合は、医師へご相談ください。



- 手足のふるえ
- 筋肉の脱力感
- けいれん
- しびれ(唇のまわり、手・指など)
- 歯ぐきの腫れ・ゆるみ、あごの痛みなど
- 歯科に受診中または予定のある方
- その他、いつもと違う症状を感じたとき

- 現在通院している医療機関に通院できなくなるなど治療継続が困難な場合

*治療を急に中断すると増えた骨量が再び減ったり骨折の危険性が高まることがあります。



カルシウム、ビタミンDを 毎日服用してください

- 骨の原料であるカルシウム
- 血液中のカルシウムを増やす働きのあるビタミンDを毎日服用しましょう。

血液中のカルシウムを保つだけでなく、健康な骨をつくるためにも重要なことです。

※血液中のカルシウム濃度が高い場合など、カルシウム・ビタミンDの服用が必要ない場合もあります。医師の指示に従ってください。

次のような方は、プラリアを使用できません。

- 過去に、プラリアの成分に対して異常な反応を起こしたことがある方
- 低カルシウム血症の方
- 妊婦または妊娠している可能性がある方

次のような方は、 プラリアを慎重に使用する必要があります。

- 低カルシウム血症を起こすおそれのある方
- 重度の腎機能障害のある方（低カルシウム血症を起こす可能性があるため）



最後に…

骨粗しょう症の治療は
お薬を続けることが大切です。

あなたに合ったお薬を
先生と相談して決めていきましょう。



医療機関名



第一三共株式会社

提携

AMGEN®